

議会と語ろう会

議会と語ろう会を1月27日、2月15日に開催。
播磨町商工会、播磨町民生委員・児童委員協議会の皆さんと懇談テーマを決めて実施しました。

商工会

商工業の振興・

活力あるまちづくり



民生委員

民生委員・

児童委員の今後は



◎ 以前はあんしんボタン（緊急通報装置）の誤作動が多いと聞いたが、最近はどうなのか。
A 現在は大きなボタンになり誤作動は少ない。ただし、予期せぬ不具合が生じるということでも更新を検討している。

● あんしんボタンのペダントが重いと聞いている。軽量なものを検討してほしい。また、協力者3人の確保や居住地などの問題について考えてほしい。
● 以前あった身体障害者福祉協議会を再度立ち上げてほしい。

お知らせ

議会と語ろう会の詳しい内容は、播磨町ホームページにて議会報告会で検索してください。
諸団体で議会と語ろう会を応募していただければ喜んでお伺いいたします。

総務建設

ロミセン便導入に向けて

2月10日開催

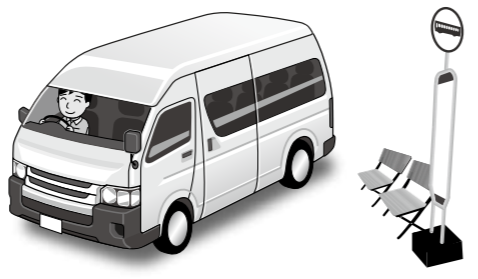
地域公共交通システム導入検討業務

高齢者社会に対応して、本年10月より1年間の実証運行を予定している。運行ルートについては、路線バスが乗り入れ困難な地域や公共施設、鉄道

駅及び買い物施設などを結び、喜瀬川を挟む形で土山駅と播磨町駅を回る東西2路線を予定。西ルートが7.0キロメートル、東ルートが6.4キロメートルと設定している。運行時間は毎日8時から18時台とし、各コースともに1日7便で運行

する。運行車両は、車いす利用者も乗車できる10人乗りを予定。運賃は、利用促進を考慮し、100円の均一料金で実証運行にあたる。
町の負担は、年間2796万円と予測している。
【主な質疑応答】
問 委員会の中で提案した住民ニーズに合致した予約型タクシーではなく、負担も大きい定時定路線型を選定した理由は。
答 地域性から定時定路

線型のほうが効率が良く、予約型は手続きが煩雑になると考える。
行政不服審査制度の改正
改正の目的は、審査員制度の導入や第三者機関への諮問手続の導入のほか、やり方を審査請求に一元化し、審査請求期間の延長や審理の迅速化を図る。



その他の調査項目
▼第4次総合計画（基本計画）の見直し

委員会では議会閉会中も案件の審査・調査を行う委員会。その活動内容をお知らせします。
なお、詳しい内容については播磨町議会ホームページに掲載しています。



▲放課後子ども教室（南小）

厚生教育

町が目指す教育の姿は

2月8日開催

第2期教育振興基本計画「播磨町総合計画」を踏まえた「第2期播磨町教育振興基本計画」（平成28年度～32年度）を策定。教育を取り巻く環境の変化や、町がめざす教育の姿としてまとめている。地域全体で子どもを育て

る体制づくりを進めるため「サポートチーム播磨」を構築する。
学校生活サポートを常時配置し、地域ボランティアの協力も得て、支援に努める。
【主な質疑】
問 取り組みの内容は。
答 教職員免許所有者が、小・中学校で学習面、生

涯学習推進計画見直し
「播磨町教育振興基本計画」に基づき、平成28年度～32年度までの後期推進計画を見直す。
4つの目標を掲げ、生涯学習ガイドブックを公表・配布する。
【主な質疑応答】
問 ガイドブックの配布対象と部数などの準備は。

◎ テーマから探せるページと、場所から探せるページがあり、2000部程度の予定で各生涯学習施設に設置。活動団体に渡して地域に広める。
その他の調査項目
▼高砂市のごみ受け入れ
▼企業立地促進法に基づく「基本計画」策定
▼地域再生計画
▼証明書のコンビニ交付
▼（仮称）介護保険手数料条例の制定